

平成 25 年 12 月期 第 2 四半期決算短信（非連結）

平成 25 年 8 月 20 日

会 社 名 株式会社ミック経済研究所
 本社所在都道府県 東京都
 本社所在地 東京都港区芝四丁目 7 番 8 号 芝サンエスワカマツビル 10 階
 代表者 役職名 代表取締役社長 有賀 章
 問い合わせ先責任者 役職名 総務部次長 村井 則道 TEL (03) 5443-2991

1. 平成 25 年 12 月期第 2 四半期の業績（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日）

- (注) 1. 本四半期決算短信の数値は、監査を受けておりません。
 2. 本四半期決算短信の記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	千円	%	千円	%	千円	%
25 年第 2 四半期	49,162	(△16.4)	△8,136	(-)	△8,120	(-)
24 年第 2 四半期	58,852	(△14.7)	2	(△100.0)	18	(△99.8)

	当 期 純 利 益		1 株 当 たり 当 期 純 利 益 金 額	潜在株式調整後 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 金 額	自 己 資 本 当 期 純 利 益 率	総 資 産 経 常 利 益 率	売 上 高 経 常 利 益 率
	千円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
25 年第 2 四半期	△8,424	(-)	△2,417	-	△9.1	△7.6	△16.5
24 年第 2 四半期	△91	(-)	△26	-	△0.1	△0.1	0.0

- (注) 1. 期中平均発行済株式数 25 年第 2 四半期 3,485 株 24 年第 2 四半期 3,485 株
 2. 会計処理の方法の変更 無
 3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率
 4. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

(2) 財政状態

	総 資 産	純 資 産	自 己 資 本 比 率	1 株 当 たり 純 資 産 額
	千円	千円	%	円 銭
25 年第 2 四半期	105,507	88,561	83.9	25,412 21
24 年第 2 四半期	180,178	163,343	90.7	46,870 49

- (注) 期末発行済株式数 25 年第 2 四半期 3,485 株 24 年第 2 四半期 3,485 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
25年第2四半期	△7,659	136	△70,664	△78,186
24年第2四半期	1,283	23	—	153,271

2. 平成25年12月期の業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金（円）				
				第1四半期	中間期末	第3四半期	期末	年間
	千円	千円	千円					
通 期	115,400	1,780	1,070	—	—	—	—	—

（参考）1株当たり予想当期純利益金額（通期） 307円03銭

（注）1株当たり予想当期純利益金額（通期）は、第2四半期末現在の発行済株式数が期末まで変動しないと仮定した予想期中平均発行済株式数をもとに計算しています。

第 23 期 第 2 四半期報告書

(平成 25 年 4 月 1 日から平成 25 年 6 月 30 日まで)

会社名(定款上の商号) 株式会社ミック経済研究所
 英文名(英文商号) MIC RESEARCH INSTITUTE LTD.
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 有賀 章
 本店の所在の場所 東京都港区芝四丁目 7 番 8 号
 芝サンエスワカマツビル 10 階
 電 話 番 号 03-5443-2991
 連 絡 者 総務部次長 村井 則道

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円)

期 別 科 目	第 23 期 第 1 四半期 自平成 25 年 1 月 1 日 至平成 25 年 3 月 31 日	第 23 期 第 2 四半期 自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 25 年 6 月 30 日	当期累計 自平成 25 年 1 月 1 日 至平成 25 年 6 月 30 日	前年同期累計 自平成 24 年 1 月 1 日 至平成 24 年 6 月 30 日
売 上 高	20,441	28,720	49,162	58,852
売 上 原 価	21,116	23,406	44,523	43,781
売 上 総 利 益	△674	5,313	4,639	15,071
販売費及び一般管理費	7,466	5,309	12,776	15,069
営業利益又は損失(△)	△8,141	4	△8,136	2
営 業 外 収 益	16	0	16	15
経常利益又は損失(△)	△8,125	5	△8,120	18
税引前四半期(当期) 純利益又は純損失(△)	△8,125	5	△8,120	18
法人税・住民税及び事業税	259	45	304	109
四半期(当期)純利益 又は純損失(△)	△8,384	△39	△8,424	△91

期 別 項 目	第 23 期 第 1 四半期 自平成 25 年 1 月 1 日 至平成 25 年 3 月 31 日	第 23 期 第 2 四半期 自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 25 年 6 月 30 日	当期累計 自平成 25 年 1 月 1 日 至平成 25 年 6 月 30 日	前年同期累計 自平成 24 年 1 月 1 日 至平成 24 年 6 月 30 日
期 中 平 均 株 式 数	3,485 株	3,485 株	3,485 株	3,485 株
1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 損 失 (△)	△2,405 円 79 銭	△11 円 47 銭	△2,417 円 27 銭	△26 円 31 銭
潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益	－円－銭	－円－銭	－円－銭	－円－銭

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業の種類 \ 期別	第23期 第1四半期 自平成25年1月1日 至平成25年3月31日	第23期 第2四半期 自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	当期累計 自平成25年1月1日 至平成25年6月30日	前年同期累計 自平成24年1月1日 至平成24年6月30日
調査・出版事業	20,441	28,720	49,162	58,852
合計	20,441	28,720	49,162	58,852

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

科目 \ 期別	第22期末 (平成24年12月31日現在)	第23期 第1四半期末 (平成25年3月31日現在)	第23期 第2四半期末 (平成25年6月30日現在)
(資産の部)			
I 流動資産			
1. 現金及び預金	161,489	160,684	82,497
2. 売掛金・受取手形	20,921	9,655	16,994
3. 製品	481	1,023	832
4. 貯蔵品	19	19	19
5. 短期貸付金	1,000	145	19
6. 前払費用	1,390	1,161	948
7. 仮払金	—	13	90
8. 繰延税金資産	214	—	—
9. 貸倒引当金	△125	△125	△125
流動資産合計	185,390	172,576	101,276
II 固定資産			
1. 有形固定資産			
(1) 工具器具備品	1,004	920	836
有形固定資産合計	1,004	920	836
2. 無形固定資産			
(1) 電話加入権	424	424	424
(2) 実用新案権	—	617	583
(3) 商標権	—	158	154
無形固定資産合計	424	1,200	1,161
3. 投資その他の資産			
(1) 長期前払費用	44	33	22
(2) 敷金・保証金	2,210	2,210	2,210
投資その他の資産合計	2,254	2,243	2,232
固定資産合計	3,684	4,364	4,230
資産合計	189,074	176,940	105,507

科目	期別	第22期末	第23期	第23期
		(平成24年12月31日現在)	第1四半期末 (平成25年3月31日現在)	第2四半期末 (平成25年6月30日現在)
(負債の部)				
I 流動負債				
1. 買掛金・未払金		1,475	1,299	673
2. 未払費用		3,631	2,819	2,864
3. 未払法人税等		2,688	41	86
4. 未払消費税等		1,358	671	431
5. 預り金		3,331	2,608	2,503
6. 賞与引当金		—	1,296	2,492
7. 未払配当金		—	1,045	0
流動負債合計		12,485	9,781	9,051
II 固定負債				
1. 役員退職慰労引当金		7,894	7,894	7,894
固定負債合計		7,894	7,894	7,894
負債合計		20,379	17,675	17,991
(純資産の部)				
I 株主資本				
1. 資本金		53,000	53,000	53,000
2. 資本剰余金				
資本準備金		632	632	632
資本剰余金合計		632	632	632
3. 利益剰余金				
(1) 利益準備金		12,618	12,618	12,618
(2) その他利益剰余金		102,445	93,015	92,975
別途積立金		15,000	15,000	15,000
繰越利益剰余金		87,445	78,015	77,975
利益剰余金合計		115,063	105,633	105,593
自己株式		—	—	△70,664
株主資本合計		168,695	159,265	88,561
純資産合計		168,695	159,265	88,561
負債純資産合計		189,074	176,940	105,507

項目	期別	第22期末	第23期	第23期
		(平成24年12月31日現在)	第1四半期末 (平成25年3月31日現在)	第2四半期末 (平成25年6月30日現在)
発行済株式総数		3,485株	3,485株	3,485株
1株当たり純資産額		48,406円10銭	45,700円30銭	25,412円21銭

(4) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

項 目	株主資本							株 主 資 本 合 計
	資本金	資本剰 余金 資 本 準 備 金	利益剰余金				自己株式	
			利 益 準 備 金	その他利益剰余金		利 益 剰 余 金 合 計		
				別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金			
平成 24 年 12 月 31 日残高	53,000	632	12,618	15,000	87,445	115,063	—	168,695
第 1 四半期中の変動額								
剰余金の配当	—	—	—	—	△1,045	△1,045	—	△1,045
第 1 四半期純損失 (△)	—	—	—	—	△8,384	△8,384	—	△8,384
第 1 四半期中変動額合計	—	—	—	—	△9,429	△9,429	—	△9,429
平成 25 年 3 月 31 日残高	53,000	632	12,618	15,000	78,015	105,633	—	159,265
第 2 四半期中の変動額								
第 2 四半期純損失 (△)	—	—	—	—	△39	△39		△39
自己株式の取得							△70,664	△70,664
第 2 四半期中変動額合計	—	—	—	—	△39	△39	△70,664	△70,704
平成 25 年 6 月 30 日残高	53,000	632	12,618	15,000	77,975	105,593	△70,664	88,561

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第5 経理の状況 (4) 個別注記表 ①重要な会計方針に関する注記」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却の方法
各四半期の減価償却費は、年間発生見積額の 1/4 に相当する金額を計上しております。
2. 消費税等の会計処理
仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ流動負債の未払消費税等として表示しております。
3. 金額の端数処理
千円未満の金額は切り捨てて表示しております。

なお、当第 2 四半期の貸借対照表及び損益計算書並びに株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

II 第23期第2四半期（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）の業績の概況

国内景気は、2013年1月より新政権の経済政策や日銀の金融緩和による円安と株高から景気回復のムードが高まり、更に4月に入ってから個人消費に一部改善の動きが出てきました。また、企業収益も大手企業を中心に改善に向かい、設備投資も下げ止まりつつあります。

しかし、当社のドメインとするICT分野におきましてはグローバル展開やこれまで抑制していたシステム更改需要を中心とした市場回復の動きはあるものの、全体的には横這いのままです。そのためマーケティング予算支出も慎重姿勢です。

以上の市場環境から、当社の第2四半期の売上高は1.6%減と、第1四半期の31.1%減と比べると大きく改善されてきていますが、依然とマイナスです。しかし、商談件数は増えてきており、第3四半期以降は景気回復期に入り、2013年下期は前年並みの業績を達成できると予測しています。従って、通期としては上期の減少分を補えず、前年度と比較して売上は7.8%減、利益は大幅減少する予定です。

これを事業別にみますと、自社企画資料の売上につきましては55.3%増の24,916千円と急増し、リーマンショック前のレベルになっています。しかし、第1と第2四半期を合算した上期ベースではまだ不足しており、また自社企画資料の制作本数が10タイトルと多かったこともあり、リーマンショック前に戻ったかどうかの判断は今暫くかかります。

一方、受託調査の売上につきましては、71.0%減と非常に大きな減少幅となりました。第1四半期と同様、長期固定客の大型案件が無くなったことが最大要因です。この影響は下期まで続きます。2013年に入って増加している商談を確実に獲得することと、依託調査についての当社にしかできない「付加価値サービス」を提案し、少しずつ進む景気拡大に合わせて大型案件の獲得を図っていく計画です。

これらの結果、当第2四半期の総売上高につきましては、28,720千円（対前年同期比1.6%減）、利益につきましては、営業利益4千円（前年同期営業利益1,401千円）、経常利益5千円（前年同期経常利益1,401千円）、四半期純損益39千円（前年同期純利益1,314千円）となりました。

売上が減少したにも係らず、営業利益は採算ラインを僅かに超えました。その主な要因は、代表取締役社長の年俸を定例見直しの4月から33%カットしたためです。（代表取締役社長 有賀章）

III 第23期通期の売上高及び利益の予測について

第23期通期の売上高及び利益の予測につきましては、第1四半期において修正した数値を右のように修正します。売上125,100千円を115,400千円（前年比7.8%減）に。経常利益7,814千円を1,780千円（前年比77.1%減）に。当期純利益5,259千円を1,070千円（前年比79.7%減）に修正します。

IV 資金及び借入金状況

(1) 現金及び預金の増減

（単位：千円）

科 目	期 別	第23期 第1四半期	第23期 第2四半期
		〔自平成25年1月1日 至平成25年3月31日〕	〔自平成25年4月1日 至平成25年6月30日〕
現金及び預金の増減額		△805	△78,186
現金及び預金の四半期首残高		161,489	160,684
現金及び預金の四半期末残高		160,684	82,497

（主な増減理由）

売上債権7,338千円増加による減少、自己株式取得による70,664千円減少、未払費用1,241千円増加による増加、未払配当金1,045千円減少による減少、未払費用1,241千円増加による増加が主な要因です。

(2) 短期借入金の増減

該当事項はありません。

- (3) 長期借入金の増減
該当事項はありません。

- V その他
該当事項はありません。